

美幌町過疎地域持続的発展市町村計画(素案)に対するパブリックコメント(意見公募)手続の実施結果について

令和7年10月1日(水)から10月30日(木)までの間「美幌町過疎地域持続的発展市町村計画(素案)」について、パブリックコメント(意見公募)を実施したところ、1件のご意見をいただきました。いただいた意見の内容とそれに対する町の考え方及び回答を取りまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

NO.	ご意見の内容	町の考え方	回答
1	《具体的な提案内容》 令和13年度の義務教育学校開校に伴い、利活用が可能となる「東陽小学校跡地」に、以下の機能を持つ多世代交流・子育て支援拠点の整備を具体的に提案します。 【全天候型・屋内子ども遊戯施設】 【大型遊具を備えた、まちなか大規模公園】 【新しい町立図書館】 【コミュニティカフェの併設】 《提案の趣旨》 私は、これからの美幌町が持つべき最大の強みは「子育てのしやすさ」であると考えます。令和13年度に開校予定の義務教育学校設立という未来への投資や、町全体がコンパクトで暮らしやすいという特性は、既に現在の日本が目指す街の姿として大きな魅力です。この強みを最大限に活かすため、今後の「美幌町過疎地域持続的発展市町村計画」は、子育て支援を核に据えるべきだと提案します。 《提案の背景と理由》 1. 端野高野道路整備がもたらす「暮らしの拠点」としての可能性 貴町の計画にもある通り、今後、高規格道路の整備が進めば、北見市への通勤時間はさらに短縮されます。これにより、「仕事は北見、暮らしは美幌」というライフスタイルがより一層現実的な選択肢となります。これは、美幌町が北見市などと一緒に定住を促進する「北見地域定住自立圏」構想の実現を力強く後押しするものです。この地理的優位性を活かし、近隣の商業拠点である北見市と競合するのではなく、「商業の北見、子育ての美幌」という明確な役割分担を築くことが、持続可能な発展に繋がると考えます。 2. 町の最重要課題「若者世代の人口減少」への具体的な解決策として 計画書では、町の最重要課題として10代～20代の若者世代を含む子育て世代の転出超過が挙げられています。この	ご意見のありました令和13年度に開校予定の義務教育学校整備に伴い、東陽小学校跡地への多世代交流・子育て支援拠点の整備については今後、各小中学校跡地の有効活用を検討する中で参考とさせていただきたいと考えております。 また、厳しい財政状況の中、自主財源の確保に取り組むとともに効率的な財政運営の構築を進め、限られた財源の中で、最大限の効果を上げられる財政運営に努めて参ります。	計画については、原文のままとさせていただき、今後の施策の進め方等の参考とさせていただきます。

大きな課題に対し、本提案は直接的な解決策となり得ます。札幌近郊の南幌町が手厚い子育て支援で「子育ての町」としての評価を高めた結果、全国の町村で人口増加率 1 位を記録しました。特に、安価で利用できる屋内遊戯施設や大規模な公園の存在が、札幌市からも人を惹きつける魅力となっています。このように子育て環境を充実させることは、若者世代が「この町に住みたい」「いつかこの町に帰ってきたい」と思うための最も強力な動機付けになります。この施設への投資は、若者世代の流出を防ぎ、U ターンや定住を促進する上で不可欠な施策だと確信しています。 3. 移住・定住促進の「切り札」となる施設の必要性 貴町は移住相談拠点「KITEN」の整備など、移住促進に力を入れています。計画書では移住相談から「完全移住」へ繋げるためのサポート体制が課題であるとされています。天候を気にせず子どもを遊ばせられる屋内施設や、親子で楽しめる公園、新しい図書館は、移住を検討する子育て世代にとって、町の魅力を具体的に示す強力な「切り札」となり、移住への強い後押しとなるはずです。 4. 「中心市街地の賑わい」を取り戻す起爆剤として 計画書では、長年の課題として「中心市街地の空洞化」が指摘されています。東陽小学校跡地という町の中心に近い場所にこの拠点を整備することは、週末などに多くの親子連れを呼び込み、周辺の商店街を含めた中心市街地全体の活性化にも貢献します。これは、貴町が目指す「魅力ある中心市街地づくり」を実現する大きな起爆剤となります。 5. 「現在の美幌が持つ課題から見た必要性」 現在の美幌町には、天候に関係なく気軽に子どもたちが思い切り体を動かせるような大型遊具を備えた公園や、地域住民との活発な交流が発生する環境が乏しいです。また、町立図書館は老朽化が進んでおり、町の将来を担う子どもたちや地域住民にとって、より魅力的で快適な学習・交流環境が求められています。 《財政負担を考慮した段階的な整備について》 義務教育学校の建設と同時期に大規模な複合施設を整備することは、町の財政にとって大きな負担となることを理解しております。貴町の計画書にもある通り、費用の「平準化」は極めて重要です。 そこで、本提案の実現にあたっては段階的な整備計画とすることを合わせて提案します。 【第 1 段階】 まずは、町に現在不足しており子育て世代が必要としている「屋内遊戯施設」と「公園」の整備を先行して進めます。 【第 2 段階】 その数年後、財政状況を見ながら、「新しい図書館」と「カフェ」の建設に着手します。現在の図書館も適切に維持管理することで、計画的な移行が可能だと考えます。		
---	--	--

	このように事業を段階化することで、財政負担を分散させつつ、町の魅力を着実に向上させることができると確信しています。 《東陽小学校跡地を活用する意義と町の計画との整合性》 現在大学生の私は東陽小学校の卒業生として、母校が無くなることには寂しさを感じます。しかし、空き地になるより、町の未来を創る新しい拠点として生まれ変わる方が、ずっと価値のあることだと信じています。 この提案は、「人口減少対策」「移住促進」「中心市街地活性化」という町の複数の重要課題を同時に解決し、貴町が掲げる「第 6 期美幌町総合計画」の「基本目標 4:住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり」や「基本目標 5:夢を育む体験！ あたたかい人をつくるまちづくり」の実現にも大きく貢献するものです。		
--	---	--	--